

令和元年度活動報告書



社会見学 愛知県庁にて



特定非営利活動法人
トルシーダ



令和元年度実施事業



誰もがあたりまえに学べる社会、
普通に暮らせる社会を目指す

外国籍の青少年への居場所提供事業

- 日本語教室 CSN保見
- みよしJSL教室
- 安城初期指導教室
- 土曜日教室
- 高校生サポート教室
- ほみっこサロン

日本語教育事業

- 駅前日本語教室
- 作文教室
- 教科サポート教室
- 外国人就労支援中級日本語教室
- 放課後学習支援 Passo a Passo
- プレスクール きらきら
- プレスクール ぴかぴか
- 日本語指導者の研修
- プライベートレッスン

情報提供事業

ネットワーク事業

- キャリア教育と進路サポート
- カエルプロジェクトセミナー
- 翻訳・通訳業務
- 地域づくり事業

torcida



トルシーダの学習者

国別内訳

	ブラジル	ペルー	中国	フィリピン	ネパール	ベトナム	日本	その他	合計
CSN保見	25	－	4	5	8	1	－	－	43
みよしJSL	22	4	2	4	－	－	－	2 ※1	34
安城初期指導教室	15	3	－	17	－	1	1	8 ※2	45
土曜日教室	17	3	2	2	3	1	－	－	28
高校生教室	5	－	1	8	－	－	－	－	14
ほみっこサロン	21	－	－	－	－	－	－	－	21
駅前日本語教室	－	－	2	5	5	1	1	－	14
作文教室	－	－	2	5	5	1	1	－	14
教科サポート教室	1	－	3	5	5	1	1	－	16
中級日本語教室	12	1	6	3	1	4	－	3 ※3	30
Passo a Passo	10	1	－	2	－	－	－	1 ※4	14
プレスクールきらきら	38	6	8	1	－	1	6	5 ※5	65
プレスクールぴかぴか	4	－	2	1	－	3	－	1 ※6	11
合計	170	18	32	58	27	14	10	20	349

※1 スリランカ

※2 スリランカ／インドネシア

※3 ボリビア／アルゼンチン

※4 メキシコ

※5 韓国／モンゴル／マレーシア／アルゼンチン／インドネシア

※6 モンゴル





6歳 小学校入学前の年長児

7歳～12歳 小学生

13歳～15歳 中学生

16歳～18歳 高校生

19歳～ 大学生／社会人

年齢別内訳

	6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19歳～	合計
CSN保見	1	7	4	29	2	43
みよしJSL	—	24	10	—	—	34
安城初期指導教室	—	25	20	—	—	45
土曜日教室	—	—	25	3	—	28
高校生教室	—	—	—	14	—	14
ほみっこサロン	9	12	—	—	—	21
駅前日本語教室	—	—	—	14	—	14
作文教室	—	—	—	14	—	14
教科サポート教室	—	—	—	16	—	16
中級日本語教室	—	—	—	10	20	30
Passo a Passo	—	14	—	—	—	14
プレスクールきらきら	65	—	—	—	—	65
プレスクールぴかぴか	11	—	—	—	—	11
合計	86	82	59	100	22	349



日本語教室 CSN保見教室

【委託事業】豊田市外国人の子どもの社会適応サポート事業
 【場所】豊田市保見団地内
 【期間】通年 月曜日～金曜日 10:00～15:00
 【対象】不就学、ブラジル人学校児童生徒、※学齢超過

日本の学校に通っていない子どもたちの居場所。友達を作り、日本のことを知り、将来のことをいっしょに考えながら日本語の基礎をしっかりと学ぶ教室。体験的な活動もたくさん取り入れ、実践的に学んだり、社会について知る機会もつくる。学校に通っていない子は一日、ブラジル人学校生は学校に行く前や後の時間を利用して教室に通う。



7歳～12歳 小学生

13歳～15歳 中学生

16歳～18歳 高校生

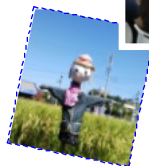
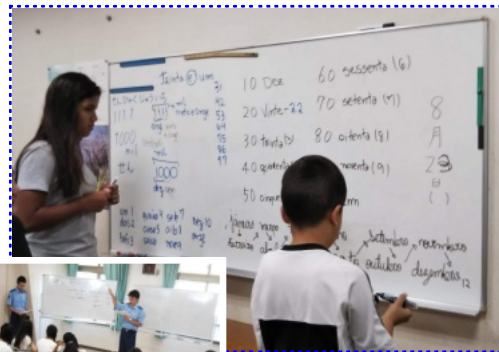
日本語学習

体験学習

開講 3クラス編成	4月	
	5月	交通安全教室(自転車講習)
	6月	田植え/ヤクルト工場見学 おいでん祭り講習
	7月	社会見学(AIA、愛知県庁、裁判所)
	8月	健康相談会/愛知県国際警察講話
	9月	豊田市役所パートナーシップ研修
中卒認定試験	10月	稲刈り/芋ほり
JLPT受験	12月	
書初め	1月	セカンドハーベスト見学
保護者面談	2月	

※学齢超過

日本の法律に規定されている義務教育年齢を過ぎている状態



「この教室に参加することをとても楽しみにしているので、普段は寝坊するんですが、教室がある日は自分で起きて準備して出発の時間を待っているんです。」保護者の方からの温かいお言葉は活動の励みになりました。そして、子どもたちがキラキラと目を輝かせて学習する姿に、スタッフもやる気と元気が湧いてきました。授業や行事の準備など大変なこともありましたが、何とかできたのも支えてくださった皆様のおかげです。ありがとうございました。(スタッフ2)

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため休講措置

ブラジル人学校に通っている11、12歳クラスを担当しました。科学実験や手品、工作、裁縫など…色々なことをしながら、「できた！」と一緒に楽しみました。日常生活の中で日本語を使っていない子たちがどうすれば自然に言葉が使えるかなあと考え続けた一年でした。(スタッフ1)

成果と課題

子どもたちの背景や、保護者、本人の進路についての考えは多様です。今年度は①ブラジル人学校から日本の学校への編入希望。②学校でのいろいろな問題があり不就学になっている。教育委員会と相談し、学校へ戻るまでしばらく時間をとりたくて教室に参加したい。③発達障害や発達障害が疑われ、落ち着いて学ぶことが難しい等のケースがありました。

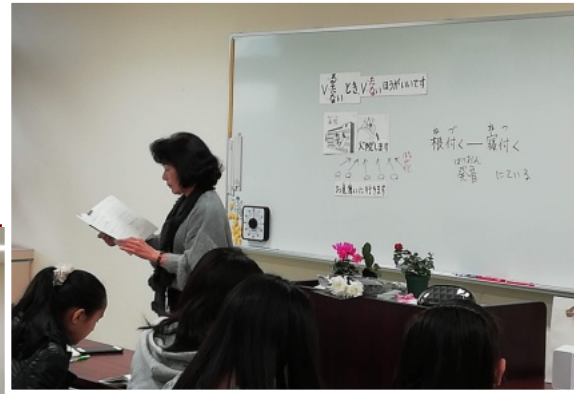
子どもたちの気持ちに寄り添い、必要な情報提供をし、つなげることで、中3で中学校に編入し、高校進学するなど次のステップに踏み出した子どもたちもいます。日本語がゼロで来日した若者の参加も多くありましたが、進学や就職という目標設定を行い、日本語を学習するためのモチベーションとしました。地域とつなげる、日本人の知り合いを増やす等居場所としての日本語教室の役割を実行していくことが課題です。

駅前日本語教室 作文教室 教科サポート教室

【助成金】公益財団法人大阪コミュニティ財団
 【助成金】愛知県日本語学習支援基金
 【場所】トルシーダ事務所内/豊田産業文化センター内
 【期間】通年 月曜日～金曜日 9:15～13:15
 【対象】高校進学希望者

日本で高校へ進学したい子の進学準備の教室。子どもと保護者が学校制度や受験の仕組みを理解して、その子に合った進学先を選べるようなサポートを行う。母国で中学校を卒業したり、日本で中学校を卒業したものの進路が決まらなかった15～18歳が学んでいる。日本語だけではなく、教科(国語、社会、数学)、作文の学習をし、高校入学後に授業を理解するための基礎知識をつけることを目標にしている。

- 4月 開講
ほぼゼロからの
初期日本語指導スタート
- 7月 進路ガイダンス
- 11月 高校、夜間中学見学・説明会
- 12月 JLPT受験
- 2月 高校願書提出
- 3月 高校受験/合格発表



日本語が十分できない中で教科の学習につなげていくことに難しさを感じました。身近な社会問題や健康などをテーマに教科の学習に関連付けて、楽しく学べるテーマを選び、子どもたち自身が考えを深めていけるようなしかけをもっと作っていきたいです。(スタッフ2)

中学夜間学級進学	全日制高校進学	昼間定時制高校進学	夜間定時制高校進学	帰国	学習終了
1	2	1	7	1	2

今年度から、学齡超過者も外国人生徒入学者特別選抜試験の対象になりました。



入学願書と成績証明書
高校に提出します



成果と課題
 高校進学希望者全員が第一希望の学校に進学できました。音読、歌、作文、発表などの活動を交えながら日本語のできることをこつこつと増やしていき、受験に必要な作文と面接につなげることができたと思います。ほとんどの子が4月に初めて日本語を学び始め、面接で自分のことが話せるところまでできるようになりました。しかし、高校の授業についていくには作文面接の準備だけでは足りません。日本語、教科学習は当団体の他教室で学べるようになっていますが、さらに1年半のコースを設けるなどの工夫が必要だと感じています。

就学前サポート

プレスクール きらきら

【委託事業】豊田市教育委員会委託豊田市プレスクール開催業務

【場所】豊田市立西保見小学校内／豊田産業文化センター内

【期間】11月～3月 月曜日・木曜日・土曜日 全30回

(※コロナウイルス感染拡大防止のため25回で終了)

【対象】豊田市内の外国人年長児

日本語ゼロの子も日本語に不自由のない子と一緒に学び、小学校入学の準備をする教室。ひらながの学習、絵本の読み聞かせ、工作等を行った。



6歳 小学校入学前の年長児

『だるまさんが』の読み聞かせを聞きながら一緒に体を動かす



あ行の言葉と絵カードを並べる



●日本NPOセンターからランドセルの寄贈

「たのしかった。あしたもくる」！
「ありがとう」でも「あしたはないよ。また来週ね」と、心でつぶやく。
明るい子どもたちの「できた」！
という表情に励まされる教室です。
(スタッフ)

生まれた国

日本	ブラジル	中国	ペルー	韓国	インドネシア	モンゴル	アルゼンチン	回答なし	合計
37	15	4	2	1	1	1	1	2	65

家庭で使う言葉

日本語	ポルトガル語	中国語	スペイン語	韓国語	ベトナム語	モンゴル語	インドネシア語		
6	25	2	2	1	1	1	1		
		ポルトガル語&日本語	スペイン語&日本語	中国語&日本語	英語&日本語	モンゴル語&日本語	日本語&繋がりのある国の言葉	回答なし	合計
		8	6	4	1	2	2	3	65

成果と課題

西保見小学校では、靴箱の使い方、廊下の歩き方、姿勢よく椅子に座ることなど、学校生活に慣れるための練習ができましたが、どうしてもポルトガル語以外の言語の子どもたちが言語的マイノリティーになってしまうという課題があります。両教室ともに、嬉しいことではあるけれど参加人数の多さにどう対応するかが最大の課題です。基本的に指導も読み聞かせも日本語のみですが、日本語がほぼゼロの子どもに対してだけ、バイリンガル指導員が説明をするなどサポートをしました。できるという自信につなげること、分からなければ聞けることを目標にしていたのですが、すでにいろいろなことに自信を失っている子をどうエンパワメントしていくのか、考えていきたいです。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大予防から両教室とも最後まで実施できず、修了式で保護者に向けて学校生活の説明や注意事項について話しができなかったことが残念でした。

プレスクール ぴかぴか

【委託事業】岡崎市国際交流協会

【場所】岡崎市図書館交流プラザりぶら内

【期間】2月～3月 全5回

(※コロナウイルス感染拡大防止のため3回で終了)

【対象】岡崎市内の外国人年長児

小学校へ入学する準備として、文字や言葉の学習を行う。集団で学ぶことを経験する。



6歳 小学校入学前の年長児



「わかる～」
「できる～」という子どもたちの中に、困った顔をしている子がちらほら。そんなときには、スタッフがさりげなく補助に入る。みんなで一緒に勉強することを経験しておけば、学校に入ってもきっと大丈夫。みんな元気な1年生になれる(スタッフ)

学習内容

	主な目的	内容
1回目	プレスクールに慣れる	挨拶、返事、50音表を見る、鉛筆の持ち方、運筆、ひらがなの書き順、並んで歩く、数字の読み方
2回目	ひらがなの学習を始める	あ行の言葉と文字、音韻、体の名称(歌)、「何ですか」応答練習、はさみ、のりの使い方
3回目	言葉を覚える 言葉遊びを楽しむ	あ行とか行の言葉と文字、色、しりとり

※内容は愛知県プレスクールマニュアルを参考

※毎回、読み聞かせを行い、絵本の内容と関連付けた活動を行った

成果と課題

岡崎市で初めてのプレスクールの開催であり、外国につながりがある子どもの支援が就学前にまで広がりました。市内のいろいろな学区からの参加があった反面、外国人が集住している南部からの参加者は少なく、広報、参加者募集については工夫を重ねていく必要があります。新型コロナウイルス感染拡大防止から5回の予定が3回しか実施できませんでしたが、子どもたちは毎回楽しんで日本語を学ぶことができました。今後、就学準備としてのプレスクールとするためには、回数を増やすこと、保護者への情報提供の機会を持つことが必要だと考えます。

初期指導教室 みよしJSL

【委託事業】みよし市教育委員会委託初期指導教室運営業務
 【期間】通年 月曜日～金曜日 9:00～15:00(祝日と学校休業日は除く)
 【対象】みよし市の小中学校に在籍する
 ①日本語初期指導を必要とする児童生徒
 ②日本語が十分ではなく学習が困難な児童生徒

習熟度と学年を考慮したグループで日本語指導を行う。来日直後は一日をみよしJSLで過ごし日本語を集中的に学ぶ。その後は、学校、保護者と相談しながら半日の通級、週に数回の通級などで学校生活へのソフトランディングを目指す。また、日常会話はできて漢字が分からない、学習用語が入っていないなど学習に困難がある児童生徒へ学習支援を行う。
 学校からの送迎も行っている。



7歳～12歳 小学生

13歳～15歳 中学生

学習内容

小学校1～2年生	ひらがな、カタカナ 短い説明文やお話の音読 足し算引き算の計算練習 日記、絵本の読み聞かせ等
ビギナークラス	簡単なコミュニケーション 日本について、日本の学校について知る 日本語の積み上げ 音読 日記 ひらがな カタカナ 漢字の導入 計算練習等
日本語初級クラス	日本語の積み上げ 音読 読解 日記 漢字 体験学習等
中学生クラス	日本語の積み上げ 音読 読解 漢字 作文



子どもたちは、とても早いスピードで日本語を吸収していきます。私も、一生懸命勉強しながら、子どもたちの学びに遅れないようがんばりました！毎日が明るく元気はつらつでした。(スタッフ)

この間まで「全然ひらがなが読めないなあ」と思っていた子が急に読めるようになったり、「数字が分からないなあ」と思っていた子が、足し算ができるようになったり、日々、子どもたちが変わっていくことが嬉しかったです。(スタッフ)

成果と課題

参加の児童生徒が抱えている課題は日本語だけではなく、学校での居場所だったり、家庭環境だったりと多様です。中には発達障がいや、発達障がい疑われるケースもあります。バイリンガルスタッフが子どもたちの話を聞き、寄り添い、子どもたちは、安心してみよしJSLに通える環境があると思います。また、バイリンガルスタッフが学校の面談の通訳に入ることで、保護者や学校との連携も進んだと思います。しかし、「解決」に至ることは少なく、スタッフが専門家に相談できたり、ピアカウンセリングをしたりする環境が必要と感じました。子どもたちの成長を見守りながら関わっていく体制が大切だと思っています。

安城市 初期指導教室

【委託事業】安城市学校教育課

【場所】安城市立三河安城小学校、祥南小学校内

【期間】6月～3月 月曜日～金曜日 8:00～15:00

【対象】安城市の小中学校に在籍する児童生徒のうち日本語初期指導を必要とする者

日本語ゼロの児童生徒に対して、三河安城小学校と祥南小学校の2か所で日本語の初期指導を行った。小学1年生～中学3年生までを2グループに分け、3カ月を基本に指導を行った。今年度は教室開始が6月だったこともあり、1年を2タームに分けて在籍期間の目安を設けた。児童生徒は、保護者の送迎か、自転車で通級する。

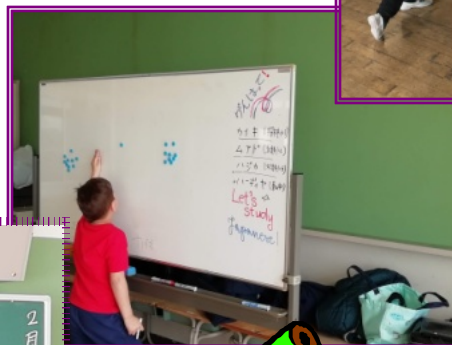
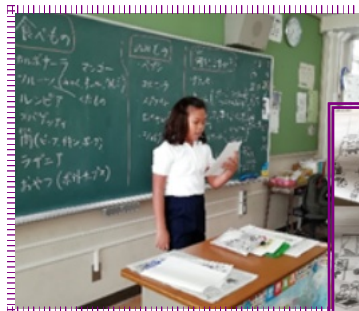
7歳～12歳 小学生

13歳～15歳 中学生

参加児童生徒の主な国

フィリピン、ブラジル、インドネシア、スリランカ、ペルー等。

2校で、45名の参加がありました。



小学校1年生から中学校3年生までを日本語のレベルで2つに分けて一緒に指導することは大変難しく、それぞれの年齢にあった指導方法を工夫する余裕がありませんでした。次年度は3グループで指導する体制ができるので、きめ細かな指導ができるよう経験を活かしていきたいです。(スタッフ)

成果と課題

日本語がまったく分からない状態から、ひらがな・カタカナの読み書き、高学年～中学生は小学1～2年生程度の漢字の読みの練習を行えました。

低学年については、クラスに戻ってからも板書をノートにうつせたり、クラスの友達と最低限のコミュニケーションが取れるようになりました。高学年～中学生は、コミュニケーション能力や教科につなげる指導をする必要があったが、できなかったことが課題です。

在日ブラジル人支援活動 ほみっこサロン

【助成金】三井物産㈱

【場所】豊田市保見団地内

【期間】7月～1月 全35回

【対象】学習者:5～7歳 / 指導者16～18歳

ポルトガル語が話せる高校生、大学生を指導者として、小学1、2年のブラジル人児童を対象に教科学習の補習、母語での読み聞かせなどを行った。また、来春小学校入学予定者を対象にひらがな、数字、学校のきまりなど小学校へ入学するための準備を行った。

7歳～12歳 小学生



成果と課題

指導者のブラジル人高校生、大学生は、ポルトガル語で話すことはできるが、書くことは自信がないという人が多かった。また、参加した1、2年生の子どもたちは日本語で会話ができるも、授業中の先生のことば(学校言語)は難しいと感じていることや、保護者は日本語が分からず子どもの学校生活に不安があることが分かりました。2つの言語を伸ばしていく環境をどう作っていくかが課題です。

放課後学習支援 Passo a Passo

【助成金】愛知県日本語学習支援基金

【場所】みよし市立三好丘小学校内

【期間】5月～2月 火曜日・水曜日 放課後

【対象】三好丘小学校児童

学習の習慣づけと予習復習で「一步一步 (Passo a Passo)」前へ！を目指す放課後教室。
放課後の教室で宿題や計算、漢字のカードを使って楽しく勉強し、子供たちの居場所にもなっている。

7歳～12歳 小学生



子ども食堂に行きました

高学年は不安の時期なので寄り添うことが大切です。
(スタッフ)

成果と課題

漢字を中心に頑張りました。子どもたちは一生懸命漢字の練習に取り組みました。宿題の範囲が分からない児童が多かったので、宿題の範囲を事前に担任の先生に確認をとることが必要でした。外国人児童は家庭での学習支援が難しく、地域での支援が必要ですが、この教室でもボランティア不足が課題です。

日本語学習支援 土曜日教室

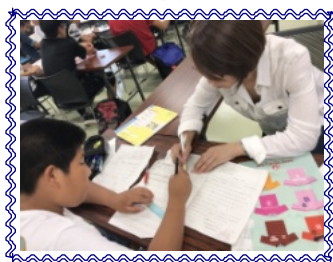
【助成金】愛知県日本語学習支援基金
【場所】豊田産業文化センター内
【期間】毎週土曜日 10:00~12:00
【対象】中学生及びブラジル人学校生、学齢超過

日本の学校に通っている中学生や、学齢超過で日本の高校へ進学したいと思っている子どもへの教科学習支援、ブラジル人学校生徒への日本語学習支援、日本語能力試験受験指導を行った。



13歳~15歳 中学生

16歳~ 学齢超過



日本語の初期指導教室のない市の中学3年生の生徒が、日本語に自信がないため進学せずに1年間しっかり日本語を学びたいと入室しました。地域による支援の有無が進路に影響を与えてることを感じました。
(スタッフ)

成果と課題

今年度は中3及び学齢超過の受験生が全体の半数を占めました。志望校別に受験対策を行い、高校を受験した全員が志望する高校に合格することができました。また、中1の新規入室の生徒が増え、中1の内容だけでなく小学校の復習を合わせて行うことで、わからなかったところがわかるようになり基礎学力向上につながりました。高校進学に関して個別に相談にのる機会が増え、悩んでいる子どもが多いことが分かりました。早い時期に情報提供する必要性を感じました。

日本語学習支援 高校生サポート教室

【助成金】愛知県日本語学習支援基金
【場所】豊田産業文化センター内
【期間】毎週土曜日 13:00~15:00
【対象】高校生

高校を中退しないように、宿題、授業で分からないところの補習をし、サポートをする教室。中学校でやり残した問題等の個別指導をする。



16歳~18歳 高校生



成果と課題

日本語がまだ十分でないまま高校に入学した新1年生の学習支援や高校生活の相談、サポートを行い、だれも中退することなく2年生に進級できました。

高校入学で安心してしまうのか、教室に来なくなり、定期試験前だけ勉強に来る生徒もいますが、それでは学力の積み上げが難しいです。早い段階で高校卒業後の自分をイメージするなどして、高校での勉強のモチベーションを保つ必要があると感じました。

中1から高3までずっと通ってきた生徒がいました。学習支援やJLPT対策だけでなく専門学校の面接練習も行ったりと支援を継続してきました。今春愛知県内の企業に正社員として就職が決まると、教室に報告に来てくれました。喜びを分かち合うことができて何よりうれしかったです。(スタッフ)

外国人就労支援 中級日本語教室

【委託事業】豊田市外国人就労支援業務

【場所】豊田高等職業訓練校内

【期間】①日本語教室 4月～12月 月曜日～金曜日 10:00～15:00

②就労支援 通年

【対象】就労を希望する16～45歳

就労を希望する外国人を対象として、就労に必要なコミュニケーション能力の習得のための中級レベルの日本語教室及び日本語能力試験N3試験対策講座を開催した。また、就労支援プログラムとして就職に必要なセミナーを実施後、企業での職場見学や職場体験を行った。

15名就労!!

就労支援プログラム

1 マナーセミナー	日本で進学就労する外国人に知っておいてほしいマナー知識について
2 ハローワークセミナー①	近年の求人傾向、いろいろな働き方について
3 ハローワークセミナー②	就労する外国人に必要とされていること、自分にあった仕事の探し方、面接を受けるときの注意点について
4 外国人就労セミナー	外国人が日本の会社で働くときに必要なこと
5 就労支援セミナー	履歴書の書き方、自分のアピールポイントを知る
6 職場体験説明会	老人介護施設及びビジネスホテル
7 職場体験①	豊田市内の老人介護施設
8 職場体験②	豊田市内のビジネスホテル
9 企業展見学	メッセ名古屋2019
10 仕事検索体験	求人票の見方、最新の求人傾向、必要とされる資格等についての情報提供
11 キャリアカウンセリング	キャリアカウンセラーによるカウンセリング



職場体験の様子



教室の様子

ハローワークセミナーでの面接練習の様子



10代の頃にCSN保見教室で日本語を勉強していた子どもが成人して、10年ぶりに日本語を学びに中級日本語教室へ参加してくれました。20代半ばを過ぎ、派遣で働くことに限界を感じ、自分がやりたい仕事をしたい、そのためにはまずは日本語が必要だと思ったそうです。ライフステージの折々で日本語を学び続ける機会を提供する必要性を改めて感じました。(スタッフ)

成果と課題

事業も3年目に入りました。丁寧な日本語を学び、安定した就労をしたいと希望する外国人の間で、仕事のための中級日本語を通年学べる日本語教室として認知され始めてきています。今年日本語能力試験N4に3人、N3に9人、N2に1人合格することができ、就労につながりました。就労支援セミナーではライフプランに合った就労形態や日本の会社で働くために必要なことを知り、キャリアについて考える機会を提供したことで就労のミスマッチを少なくすることができました。日本語能力試験の認知度が高まり、求人募集要項で日本語能力試験N2レベルを求められることも少なくありません。限られた時間数で学習者をN2レベルまでどのように伸ばしていけるかが課題です。また、比較的外国人の就労が多いコンビニやファストフード業界だけでなく、多様な職場体験プログラムを協働してくださる地元企業との連携を進めていく必要があります。

トルシーダで勉強して気づいたこと

トルシーダは日本語の勉強だけでなく社会人になって使えることも勉強をします。先生に聞いて、座って勉強をすることは大切ですが経験で学ぶのもひとつの勉強、それをトルシーダで学びました。

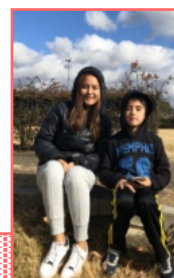
トルシーダは私の居場所です。7年前の話になっていますけど、トルシーダは日本語の勉強をできる場所だけでなく友達もいっぱいくれる所です。みんなで仲良く勉強したり遊んだりしました。トルシーダの先生たちはとても優しく自分にとって二人目・三人目・四人目・・・の母です。今の自分はトルシーダの先生方のおかげです。

トルシーダで外国の子どもに教えるようになって気づいたこと

「自分の言語もあまり分からず日本語を勉強するなんて難しいと思う」子どもたちは日本語を分からない状態で学校に通って授業を受けて周りの日本人の子どもたちと同じ動きをして辛いと思います。できるだけ子どもたちと楽しみながら勉強をしたいと思います。子どもの笑顔が今、自分にとって大事です。

今、トルシーダで勉強している外国の子どもたちへのメッセージ

今、できることをやりましょう！焦らずに自分のやりたいことを見つけて頑張ってください。もちろん日本語の勉強、学校の勉強をきちんとすること。一人じゃないから分からないことがあれば親しい人や先生方にきいてください。これからも応援します。



学習者と一緒に

マージョ・カンテラリア (フィリピン)

コラム

トルシーダの学習者から 指導者になった2人

トルシーダで勉強して気づいたこと

色んな国からの子どもたちがいるので違う文化と言語を知ることがとても素晴らしいと思いました。トルシーダで勉強するのはただただ日本語を勉強することだけでなく、日本の文化を学んだり、体験したり「日本にいるんだね！」と感じた上で文化などの理解をするので「日本は楽しいかも」と思い始めました。もちろん日本語も勉強しましたので日本で暮らすのがとても面白くて楽になりました。

トルシーダで外国の子どもに教えるようになって気づいたこと

色んな生活をしている子どもがいると気がつきました。生活とか家庭の環境によって勉強の習得力にこんなに差が出ることにびっくりしました。

そして教えることは自分にこんなに勉強になるんだ！と驚いています。

今、トルシーダで勉強している外国の子どもたちへのメッセージ

言葉も通じない、文化が違う国に来て大変かも知れないけど、勉強を頑張ると、日本の面白いことを学んだら絶対に生活が楽しくなる！日本語を話せたらもう自由！一人で電車に乗れるし、通訳を待たずに病院に行けるし、国内旅行も行けるし、色んなことができるので日本に暮らすのが絶対に面白くなるよ！



山口 ジェシカ 理絵 (ブラジル)

地域づくり事業 保見アートプロジェクト



保見アートプロジェクトは、トルシーダの呼びかけにより始動したアーティストが、自治区、愛知県住宅供給公社、県営住宅連絡協議会等と協力し、負の象徴の場所になっている県営25棟の壁をたくさんの人の力でウォールアート作品に変え、交流の場を創出することを目的とした事業。

住民同士の交流を図りながらプロジェクトの趣旨を伝えるために、事前のアートワークショップを10回実施した。このプロジェクトを通し、外国人も日本人も一緒に多文化共生の地域づくりを目指した。



ワークショップ
スタート!
@保見交流館
祭

Projeto de ARTE

2019-2020

アートのかでどもにあゆむ

HOMI

11/3 グリーティングカードを作るろう! 10:00-15:00 保見交流館 参加費：無料 子どもが大好きなカードをスクラッチして綺麗な絵や文字が浮かび上がってくるカードを作ります。 講師：造形作家 河上 博美	11/10 デコパージュでトートバッグを作るろう 13:00-14:00 保見集会所 参加費：800円 小学3年生以上 デコパージュ、ステンシル、スタンプなどを使ってアーティストの絵を転写します。 講師：造形作家 藤井 真由子	12/8 踊ろう、描こう! 10:00-12:00 保見集会所 参加費：無料 どなたでも参加できます 皆で音楽に合わせて踊り、絵を描きます 講師：高橋 幸徳
12/15 消しゴムスタンプを作るろう 13:00-14:30 保見集会所 参加費：無料 年賀状のイラストを消しゴムに彫ってスタンプを押してみよう 講師：日本建築家 藤田 誠	1/19 開演! オリジナルなるまイベント 13:00-14:30 保見集会所 参加費：1000円 3-10歳の親子が楽しめる 日本の縁起物のダルマの絵付けを体験します。日本の文化を感じることができます 講師：本家 謙徳	2/2 プラバンキーホルダーを作るろう 13:00-14:30 保見集会所 参加費：1000円 小学生以上 プラバンに好きな絵を描いたりアーティストの絵を塗り絵したりしてキーホルダーを作ります 講師：イラストレーター 藤田 誠
3/1 壁面に活躍せよ! お絵描きワークショップ 10:00-15:00 25棟 憩いの場 参加費：無料 どなたでも参加できます 25種類の憩いの場の壁に好きな絵を描いたりメッセージを描きましょう 講師：造形作家 藤井 真由子	3/29 ついに完成!!! 壁面大制作 10:00-18:00 25棟 憩いの場 参加費：無料 どなたでも参加できます 保見アートプロジェクトのメインイベントとして、25棟の憩いの場をアーティストたちがアートで大変身させます。皆と一緒に完成を見届けよう! 講師：本家 謙徳	



@西保見小学校

県営住宅供給公社や県営自治区との連携、アーティストさんたちとの出会い。全てが初めてのことで、関わった全員が手探りで進めた地域作り事業でした。共通理解を持つことの難しさはアートのか、楽しさで乗り越えました。「本当にできるのだろうか」という懸念は、想像以上の形で実現しました。保見団地の多文化多様性が25棟の壁画で踊っています。

また、今回初めてクラウドファンディングにも挑戦しました。資金面だけではなく、全国からのたくさんの応援に励まされました。

【実行委員会】NPOトルシーダ/県営住宅連絡協議会/県営保見自治区/愛知県住宅供給公社

【アーティスト】10名

【寄付】Man to Man (株)/READY FOR(株)クラウドファンディングによる寄付106名

【協賛】太啓建設(株)/ターナー色彩(株)/リキテックス/彩交画材

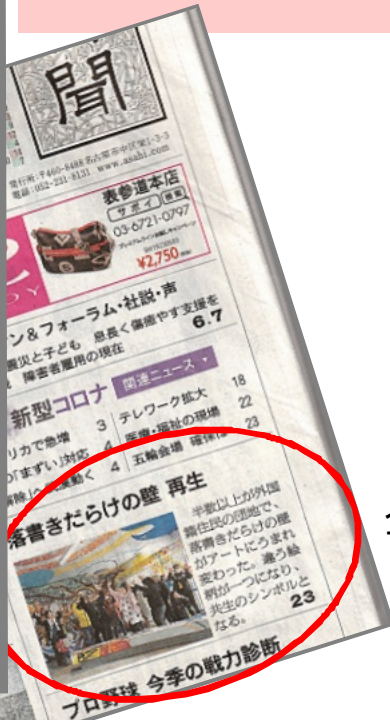
【後援】在名古屋ブラジル総領事館/愛知県/豊田市/公益財団法人豊田市国際交流協会

【協力】中京大学/豊田市立西保見小学校/豊田市立東保見小学校/豊田市立保見中学校/伯人学校EAS/住民のみなさん

クラウドファンディングに挑戦しました



ご支援ありがとうございました



全国紙1面に見出し! 期間中34紙に掲載



リターンの品々



下地塗り



その他の活動

- 日本語指導者の研修 4月～3月 全24回
オリジナルテキスト『こどもたちの日本語』の勉強会を開催

- 三井物産(株) カエルプロジェクトセミナー
9月25日～27日。三好丘小学校の授業参与観察。先生方との意見交換。
保護者の相談会。支援者の相談会。関係者との懇談会等を実施した。

- 寄付のゼミナール
豊田東高校の生徒に活動のプレゼン。共感者の得票から32,343円の寄付をいただく。

- 日本NPOセンター ランドセル寄贈プロジェクト
翌年度小学校へ入学する子どもたちにランドセルを寄贈 49名

- 認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋
定期的に食材を寄付いただき、学習者とその家族へ配布した。
また、課外学習として学習者が引き取りに一緒に行きセカンドハーベストの取り組みについて学習した。

- みみちゃんお届け便【ボラみみ物資寄贈】
教室で使用するノートや文具、学校で使用する習字道具などを寄付いただいた。



寄付のゼミナール



みみちゃんお届け便「ありがとうございました！」

見えない存在にたくない！～学齢超過の若者の学びの場と進路～ (国際子ども学校ELCC機関紙クムスタカ寄稿)

3月6日(金) 定時制高校の合格発表の日。「豊田西高校全員合格です」！「刈谷東、合格しました」！「岡崎高校も合格です」！次々と報告がLINEに入る。1年間、日本語を勉強してきた結果が現われる日。高校進学を目指して頑張ってきた子どもたちの笑顔と、支えてきた指導者のほっとした顔が頭に浮かぶ。トルシーダでは、12年前から義務教育の年齢を超え、学校へ入れない「学齢超過」の若者のための高校進学準備教室を開催している。今年度は9名が高校に進学した。

高校受験準備教室では、こんな若者たちが学んでいる。

Aさん、ネパール出身16歳(女)

日本で中学校へ行けるように手続きをしていたが、在留資格(ビザ)が出たのは15歳を超えてからだった。ネパールで15歳までの教育を修了していて、高校受験資格が認められた。Aさんのように海外で、日本の義務教育期間である9年間の教育を修了していれば、高校受験は可能である。高校進学準備教室の学習者は、Aさんのようなケースが一番多い。来日して日本の学校を経ずに高校受験することから「ダイレクト」と呼ばれることもあるが、受験のためには日本語を学ぶ「ファーストステップ」が必須である。

Bさん フィリピン出身 16歳(女)

両親の転勤により福島から引っ越してきた。中学校編入時に学年を一つ下げていて、福島では中3だったが、転出の際学籍を抜いたため、豊田市に来た時には学齢超過となり中学校へ編入することができなかった。中学の卒業資格がない状態で、学ぶ場所がなくなった。高校進学準備教室で学んできたが、中卒認定を受験するだけの日本語の力はなく、中学夜間学級に入学し、卒業資格取得を目指すことになった。

Cさん フィリピン出身16歳(女)

中学3年生の夏に来日した。中学校は卒業したが、半年では高校進学ができる日本語の力はつかず、1年間高校進学準備教室で日本語を学ぶことになった。Cさんのようなケースは珍しくなく、この3月も卒業後の進路がないことを心配し、中学校の先生からの問い合わせや見学が数件あった。

この数年、高校進学準備教室の学習者は、フィリピン、ネパール、中国からの来日が多い。思春期の難しい時期に呼び寄せられ、異文化に適應することの難しさに加え、親子関係で困難が生じることもある。進学に至るまでには、家族の応援、仲間同士の励ましに加え本音を吐ける大人の存在も重要だ。指導者には子どもたちの変化やSOSのサインに気づき、手を差し伸べる細やかな気遣いが求められる。日本語を一生懸命教えるだけではない関係づくりに配慮している。

高校進学準備教室で学ぶ子の中には、母国で高校の途中まで通っていた子も少なくない。四年間の定時制高校に入り直すことを、長すぎると感じる子もいるようだ。現在、文部科学省では、夜間中学が少なくとも各都道府県に1校は設置されるよう、その設置を促進しているが、各県1校では通えないという問題が解決しない。さらに多くの学齢超過の若者は、日本人と同じように昼間学校へ通い、学ぶことを希望している。

日本で自立をめざし、勉強を続ける若者のサポートができることはやりがいはあるが、NPO活動としての限界も感じている。事例でも挙げた通り、学齢超過の若者の背景は多様だが、学べる場所がないことは共通している。まずは、学び続けられる環境をつくることが必要で、高校へつなげることで彼らの将来は切り開かれる。彼ら、彼女らが日本で活躍できるよう学びの場が増えること、日本語教育が保障されることを望みつつ、また4月から新たな一年に向かっていこうと思う。(伊東浄江)

高校でも日本語学ぶ場を



刈谷で教研集会

外国人教育で意見交換

県高校教職員組合の西(三河)北・南支部合同の教研集会が二十四日、刈谷市産業振興センターで開かれた。この地域で外国人の子の共生支援を続けるNPO法人「トルシーダ」の松田章子理事(左)が講演し、参加した教員ら十五人も積極的に意見交換した。

翻弄

ある日系家族の足跡

「は、才徳備へん女は七目...」

「これ金と云うのは...」

「二つはハス、南米...」

翻弄

ある日系家族の足跡

「ハウアユートテイ...」

「学校はすこ愛しい。勉強も、部活も、教室の掃除も全部...」

「久しぶりに学校、勉強...」

「久しぶりに学校、勉強...」

「久しぶりに学校、勉強...」

「久しぶりに学校、勉強...」

「久しぶりに学校、勉強...」

夫婦 日本でも医師を目指す



日本での医師免許取得を目指して勉強する赤瀬ロベルトさん(左)と妻知里由希さん(右)。

4世だけ厳しい制度

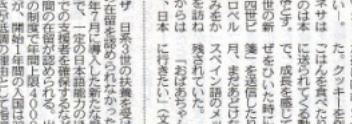
「久しぶりに学校、勉強...」

長女 日本で大学通いたい



「久しぶりに学校、勉強...」

次女 日本の定時制高校に



「久しぶりに学校、勉強...」

外国人の子どもの教育

「久しぶりに学校、勉強...」

外国人の子どもの教育

「久しぶりに学校、勉強...」

2019年8月 中日新聞連載(上・中・下)

翻弄

ある日系家族の足跡

「私も医師に」夢見て

「久しぶりに学校、勉強...」

「ハウアユートテイ...」

次女 日本の定時制高校に



「久しぶりに学校、勉強...」

外国人の子どもの教育

「久しぶりに学校、勉強...」

外国人の子どもの教育

「久しぶりに学校、勉強...」

翻弄

ある日系家族の足跡

4世だけ厳しい制度

「久しぶりに学校、勉強...」

「久しぶりに学校、勉強...」

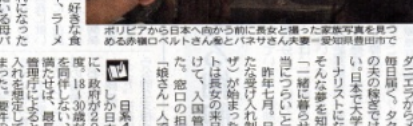
「久しぶりに学校、勉強...」

「久しぶりに学校、勉強...」

「久しぶりに学校、勉強...」

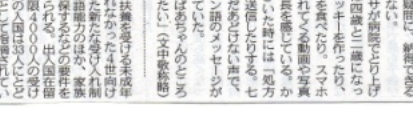
「久しぶりに学校、勉強...」

長女 日本で大学通いたい



「久しぶりに学校、勉強...」

次女 日本の定時制高校に



「久しぶりに学校、勉強...」

外国人の子どもの教育

「久しぶりに学校、勉強...」

外国人の子どもの教育

「久しぶりに学校、勉強...」



2019年度を振り返って

今年度の新規事業として安城市の日本語初期指導教室の運営と、岡崎市のプレスクールの実施があります。両事業共これまでの実績が認められた結果と嬉しく受け止めていますが、マンパワーには限りがあり、人材育成が課題でした。ボランティアの安定的な参加が望めず中断せざるを得なくなった教室もあります。

6月には、外国人の児童生徒や留学生、就労者らに対し、日本語教育を受ける機会を最大限確保することを基本理念とした日本語教育推進法が成立しました。子どもの日本語教育の先駆けとしてマスコミ等に意見を求められる機会も多かったです。社会の動きや方向性を見据えて子どもの支援をすることも重要ですし、反対に現場で関わっているからこそ見える課題も少なくありません。日本語教室には「日本語を教えるだけの場所ではない」役割が求められています。学びの環境づくりのために、支援者も学習者と共に学び成長し合える場所でありたいと願っています。

そして、年明けのコロナ感染拡大の頃からは、まるで違った世界になってしまったような年でした。3月には、プレスクールは中断となり、学校も休校になりました。そんな中、高校進学サポート支援は高校入学まで寄り添い、保見アートプロジェクトは、規模を縮小し保見の住民の皆さんと壁画の完成を祝いました。最後まで諦めない、そんな姿を見た年でもありました。

トルシーダ代表 伊東 浄江



トルシーダ会員の皆様

トルシーダの活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。
皆様の会費に支えられ、平成30年度も多くの子どもたちが日本語を学び、
進路を見つけて次のステップに進んでいくことができました。
これからも応援よろしくお願いいたします。

ご寄付を下さったみなさま

愛知県高等学校教職員組合西三南北支部様
愛知県県営住宅自治会連絡協議会様
岩瀬正幸様
オートK・Cカイカワ様
鈴木明子様
高木謙行様
高木和子様
東海労働金庫NPO寄付システム(15名)
東郷暢彦様
豊田彬子様
トヨタ自動車(株)様
豊田西ロータリークラブ様
林田由佳様
三井物産株式会社
(50音順)

多文化社会の明日を日本語で育む

NPO法人トルシーダ

〒471-0034豊田市小坂本町1-4-12梅村ビル3F 1

090-6462-3867
torcidajpp@yahoo.co.jp

ホームページ

トルシーダ

Facebook

NPO torcida

